

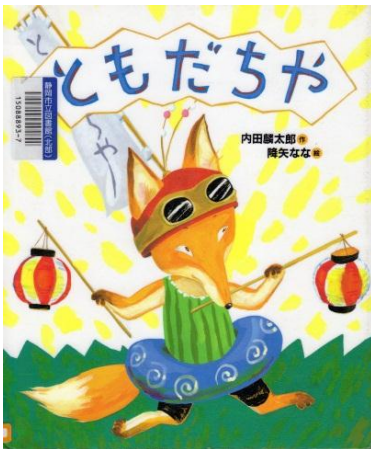
# ひらけコマ!

しずおかしりつとしょかん  
静岡市立図書館

あきごう  
Vol. 126 (2016秋号)

とくしゅう  
特集 きつね

## えほん 「ともだちや」



うちだ りんたろう さく  
内田 麟太郎 / 作

ふりや なな / 絵  
降矢 かな / 絵

かいせいしゃ  
偕成社

E フリヤ

よあけの森で、のぼりを振りながら歩く動物  
がありました。「ともだちや」をはじめたキツ  
ネです。実は、キツネが「ともだちや」をはじ  
めたのには理由があって……。 「おれたち、と  
もだち！」シリーズの第一巻。



ことわざクイズ! どないみ?

とら い か もつね  
「虎の威を借る狐」

☆こたえはいちばんさいごのページ

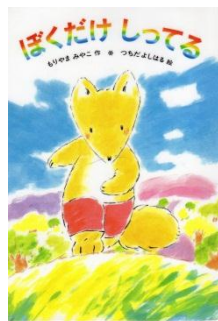
# 「ぼくだけしってる」

もりやま みやこ／作 つちだ よしはる／絵 しよぼう あかね書房

あか 913

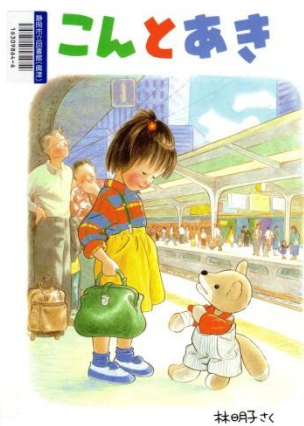
モリヤマ

きつねの子が、くまの子、うさぎの子と、地面に絵をかきました。地面にかかれたものは、きつねの子にとって知らないものばかり。翌日、かくれんぼの最中に虹がかかる空を見上げて「ぼくだけしってる。」とつぶやくきつねの子。知らなかった物事と出会う感動を大事にしたくなるお話です。



## えほん 「こんとあき」

E ハヤシ



はやし 林 あきこ 明子／さく ふくいんかんしよてん 福音館書店

あきが赤ちゃんのころから、ずっといっしょに過ごしているキツネのぬいぐるみ、こん。ある日、こんの腕がほころびてしまいました。その腕を治すため、こんとあきは、さきゅうまちに住むおばあちゃんのところへ出かけます。

## 「キツネ 北国からの動物記2」

489.56

きたくに 北国 どうぶつき からの動物記2  
たけたつ 竹田 みのる 実 ぶん 文 しゃしん 写真 かん アリス館

夕

野生のキツネを見たことがありますか？生まれて間もない頃の毛の色が黒っぽい姿、子ギツネを連れて狩りにでる姿など……。北の大地で生きるキツネの生態や暮らしを、季節の流れに沿いながら写真とともに紹介しています。



# えほん 「しちどぎつね」

いわさき きょうこ ぶん ぶんまた えいごろう が きょういくがけき  
岩崎 京子 / 文 二保 英五郎 / 画 教育画劇

E フタマ

たびひと ふたりぐみ くさむらむら なが  
旅人の二人組が、草むらに向かって投げたなべ。そのなべが運悪く、村で「しちどぎつね」とあだ名で呼ばれているきつねの頭にぶつかります。一度やられると七度やりかえすといわれる、きつねのしかえしとはいったいどんなものなのでしょう。日本の民話絵本です。



# 「シルバーフォックス・ドミノ」

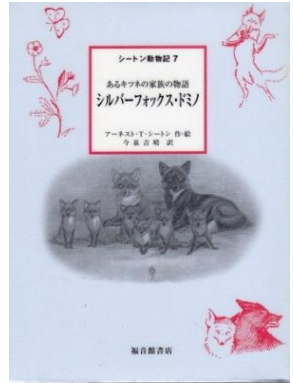
あるキツネの家族の物語 シートン動物記 7」

480.4

アーネスト・T.シートン / 作・絵

いまいすみ よしはる やく ぶくいんかんしよてん  
今泉 吉晴 / 訳 福音館書店

シルバーフォックスと呼ばれる、白と黒の混ざった毛色をしたキツネがでてくるお話です。シートン動物記は、実際に観察・調査した動物たちをもとにした、ノンフィクションに近い作品。著者による繊細な挿絵とともに、キツネと人とのリアルな物語を楽しんでみませんか。



# 「あなたの夢におじゃまします」

おかた きくこ ぶん  
岡田 貴久子 / 作

あお 913  
オカタ



たんじ あきこ / 絵 ポプラ社

さびれたほころにお参りをしたら、目の前にキツネがあらわれた！ほころの主であり、土地神さまだと名乗るキツネ。このままではほころがなくなるとともに、町が大変なことになってしまう。そうならないためにと、キツネがお願いしてきたのは……？

# ごまはかせ と こま太くんの どうやってしらべるの？



こま太くん

こまったなー、こまったなー、はかせ、  
菓<sup>くわ</sup>やさつまいもを料理<sup>りょうり</sup>したいんだけど……。

おや、おすそわけをもらったのじゃな。  
おかずにしてもいいし、お菓子<sup>かし</sup>を作<sup>つく</sup>って、  
おかえし<sup>わた</sup>に渡<sup>わた</sup>しても喜<sup>よろこ</sup>ばれそうじゃの。



ごまはかせ

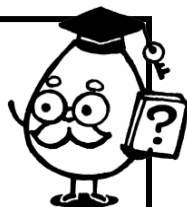


たくさん調理<sup>ちょうりほうほう</sup>方法<sup>ほうほう</sup>がありそうだね！  
実<sup>じつ</sup>はぼく、あんまりレシピ<sup>し</sup>を知らないんだ。

それなら、図書館<sup>としょかん</sup>に行<sup>い</sup>って調<sup>しら</sup>べてみよう！



5の分類<sup>ぶんるい</sup>の棚<sup>たな</sup>、家庭<sup>かてい</sup>のコーナー<sup>い</sup>に行<sup>い</sup>ってごらん。季節<sup>きせつ</sup>に合<sup>あ</sup>った料理<sup>りょうり</sup>の本<sup>ほん</sup>・野菜<sup>やさい</sup>を使<sup>つか</sup>った料理<sup>りょうり</sup>の本<sup>ほん</sup>がおすすめじゃ。  
3の分類<sup>ぶんるい</sup>・6の分類<sup>ぶんるい</sup>それぞれの棚<sup>たな</sup>で、郷土料理<sup>きょうとりのりょうり</sup>や野菜<sup>やさい</sup>の旬<sup>しゅん</sup>を調<sup>しら</sup>べると、よりいっそう楽しくなるはずじゃ。



やったー、目的<sup>もくてき</sup>に合<sup>あ</sup>った本<sup>ほん</sup>がみつかったよ！  
はやくみんなにごちそうしてあげたいな。  
はかせ、ありがとう！

ほっほっほ、よかったのう。  
作<sup>つく</sup>りすぎや食<sup>た</sup>べすぎには注<sup>ちゅうい</sup>意<sup>い</sup>するんじゃよ！



ひょうし  
表紙<sup>ひょうし</sup>  
の  
こたえ

ちから  
力<sup>ちから</sup>を持<sup>も</sup>っている人<sup>ひと</sup>の力<sup>ちから</sup>を借<sup>か</sup>りて、  
いぼっている人<sup>ひと</sup>のた<sup>た</sup>とえ。